

## これからの未来も尿検査の実施を



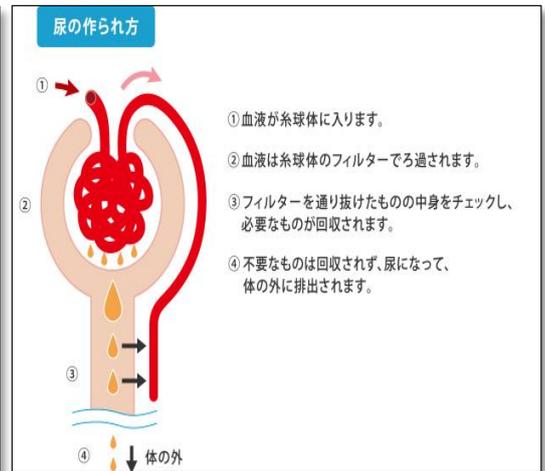
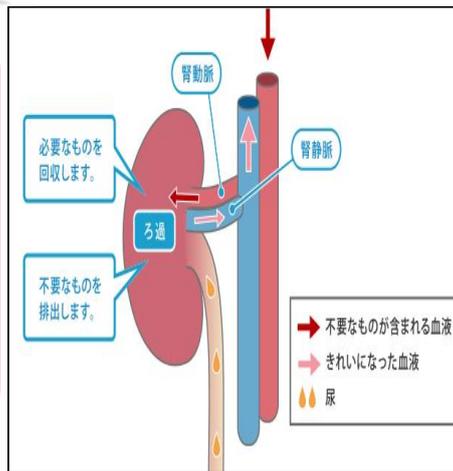
### 学校における尿検査の必要性の背景

毎年、4月新学期になると学校検診で尿検査の実施がありますが、なぜ行うのでしょうか？それは、学校保健法によって定められており、腎臓病や心臓病、喘息といった慢性の病気が増えてきたことや、腎臓病についての治療や管理方法が進歩し、子供の時期から尿検査を行うことで早期発見と早期治療に非常に役立つことが分かってきたからです。慢性の病気を早い時期に発見し、適切な治療と管理を受けさせるとともに、できる限り充実した楽しい学校生活を送れるように指導する一環で尿検査が始まりました。また、大人になっても尿検査がある理由は上記にある通り、慢性腎臓病を早期発見する為です。定期的に尿検査を受け、早期発見・治療を行いましょう。

### 尿はどのような仕組みで作られる？

『腎らいぶらり 腎臓病をよく知るための情報サイト』より

尿は腎臓で血液から老廃物をろ過し、それらを排出するために『尿』を産出します。再利用できるものはきれいになった血液と一緒にからだの中へ戻し、からだにとって要らない水分や塩分・老廃物などは尿としてからだの外へ出されます。尿検査の必要性にもある通り、腎臓の働きが悪くなると排泄されるはずの尿がからだの中に残ってしまい、様々な病気を引き起こします。



### 尿検査の検査項目について

学校保健法では、「蛋白のほか潜血、糖、pHも同時に検査するのが望ましい」と記載がありますが弊社では、そのうちの代表的な3項目(①蛋白 ②潜血 ③糖)を検査しております。

#### ①蛋白

尿中のタンパク質の量を調べる検査。蛋白は老廃物ではなく再利用できる為、本来は血液中に戻りますが、尿中から見つかるということはしっかりろ過できていないということになるため、腎機能に異常があることを示します。



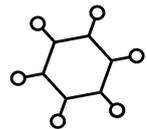
#### ②潜血

尿中に血液(赤血球)が混じっていないかを調べる検査。通常排出される尿には血液は混じりませんが、尿中に出てくるといったことはどこかで出血の原因があるということです。



#### ③糖

尿中のブドウ糖を調べる検査。ブドウ糖の濃度が高い=血糖値が高いことを示します。血糖値が高いと再吸収しきれなくなり尿中に糖がもれ出てきます。



健康かどうかは見た目だけでは分かりません。尿検査を通して、腎臓病や様々な病気から健康を守ります。症状がでる前に！病気にかかる前に！定期的に毎年尿検査を行いましょう。



**九州保健ラボラトリー**  
Kyushu Hoken Laboratory



鹿児島事業所

福岡サテライト

<http://www.kyuhoko.jp>

鹿児島県鹿児島市小野二丁目15番2号

TEL099(218)3636

FAX099(218)3553

福岡市博多区井相田3丁目5番10号

TEL092(404)5455

FAX092(404)7015



<http://www.kyuhoko.jp/>  
<http://http://www.kyuhoko.co.jp/>